

《139回大会運営規定》

【審判上の確認事項】

＜ルール取り扱いについて＞

- ① 児童の善い行いに対しては、フェアプレー精神の育成のため積極的にグリーンカードを出してください
※各会場のグリーンカード提示事案について集約の為、全体ライン等で共有願います。
- ② モップ、チームの荷物等は安全のためにベンチ裏、またはイスの下に置く。スペースが無ければベンチ横でもよい
- ③ 靴ひもを結ぶ行為は安全を確保するためなので、特に許可を与えるということではないが結び直しをさせる
但し、執拗に繰り返す場合は遅延行為になる
- ④ 監督はベンチでは記録席(副審側)に最も近いところに位置し、ラリー中ベンチに座っていなければならない。
また、ラリー間にサイドラインまで歩いて行くのは、選手に指示を与える為である。
- ⑤ 第1・2セットでは、リードするチームが7点・14点に達した時、第3セットではリードするチームが8点に達した時、30秒間のテクニカルタイムアウト(以下TTO)が自動的に適用される。さらにデュースが続く場合、第1・2セットは両チームが25点に達した時に適用し、その後は両チームが7点ずつ積み重ねた段階で適用する。また、第3セットでは両チームが21点に達した時に適用し、その後は両チームが7点ずつ積み重ねた段階で適用する。
※TTOは給水と健康観察のためのタイムアウトとし、給水場所はベンチ横とする。(会場の設定に合わせる)
ベンチスタッフは給水場所まで移動し、選手に話しかけることが出来る。(円陣等は行わない)
- ⑥ 1セットにつき12回までの選手交代が認められる
- ⑦ ラリー中は、交代競技者はベンチに着席しているか、ウォームアップエリアに位置していること
- ⑧ 審判に対する質問はゲームキャプテンのみに認められる権利である
要求する権利のない者が要求した時など、タイム・アウト及び競技者交代時の不当な要求は拒否される
またプレーに影響を及ぼしたり、同一試合中に同一チームの競技参加者が不当な要求を繰り返したりしたときはそのチームを試合の遅延として処置する
- ⑨ ユニフォームからはみ出したアンダーウェアは禁止する
- ⑩ 反スポーツマン的の行為や言動に対しては厳正に処理する。(退場・失格)
- ⑪ 髪の毛がネットに触れた場合、からみついたり等しない限り、反則としない
- ⑫ 公式練習はサーブ権を得たチームから行う。公式にエントリーされたチーム構成員以外は公式練習に参加できない
- ⑬ デッド後のボールは速やかにサービングチームに送る事
- ⑭ トスは副審側で試合開始前に行う
但し、トスにはキャプテンが立ち会い、キャプテンマークのついたユニフォームを着用する事

＜コートワイピングについて＞

コート内の選手はハンドタオルを身につけ、コートワイピングは選手自身がタオルで行うことを原則とする
タイムアウト及びセット間はベンチの者がモップを使用して拭いてもよい
但し、それ以外のモップの使用は、審判の指示に従う事

＜審判について＞

予選リーグの審判は、大会冊子の審判割当を参照ください
※試合後、審判は、次の試合のトス・打ち合いを行う事

＜その他＞

- ① 主審は試合の最終決定者である
但し、主審は判定や取扱いの疑惑について、主審の判断でコントローラー/審判長/副審判長の意見を聞くことを許可する
- ② 主副審はサービスオーダーの確認に注意を払う
- ③ 審判を行う際は審判服を着用しなければならない
- ④ 公認審判資格を持つ方は、二日目以降のご協力をお願い致します

お願い

小連役員も、その多くがそれぞれのチームを抱えながら頑張っております。
ぜひ、各チームのスタッフは大会運営のご協力をお願いします